

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年(2020年)3月31日

上田地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	5	課題区分	C			
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名	上田地域移住・交流促進事業			電話	0268-25-7112	
				E-mail	uedachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	若者や子育て世代にターゲットを絞り、ニーズや上田地域の強みを分析し、ターゲットに向けた情報発信をすすめ上田地域への移住・交流を促進する。				
	現状と課題	高速道路、新幹線等の高速交通網の整備により特に首都圏とのアクセスがよい地域である。また、人口動態において35歳～39歳の転入が最も多く、子育て世代の転入者の割合が高いと推測される。多様な人材を地域に呼び込むため、魅力ある住環境の整備と情報の発信による効果的な移住施策の実施が必要である。				
	内容 (変更後の内容)	1 移住イベントの開催 管内市町村と共催の移住体験ツアーや首都圏での移住セミナーを開催する。上田地域の移住者にも協力してもらい、移住経験談の発表や移住希望者の相談にのってもらう。 2 移住施策の研究 移住希望者向けアンケートを継続実施し、現状分析を行うとともに、地域が求めるターゲットに向け、移住に関する情報発信方法について研究を進める。				
	事業期間	令和元(2019)年5月		～	令和2(2020)年3月	
成果目標 (成果指標)	特に首都圏をターゲットに自然や住環境をアピールポイントにした移住促進施策に取り組み、移住者の増加を図る。					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	移住イベントの開催	市町村共催イベントを開催する	61,435	職員旅費、チラシ印刷費、保険料、会場使用料、郵送料等		
	移住施策の研究	アンケートを実施・分析し、移住施策について研究する	1,308	ガソリン代		
	合計		62,743			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	<p>○ 移住イベント</p> <p>①8月10、11日に1泊2日で管内4市町村を回る移住体験ツアーを市町村と協力して開催。9組の応募があり、抽選の上5組が参加。実際の生活がイメージできるようスーパーや病院など日常生活で利用する施設を中心に行程を組むとともに、ターゲットとする子育て世代に向け、助産施設や保育・教育関連施設の見学も盛り込んだ。</p> <p>②2月28日に東京で開催を予定していた移住セミナーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止としたが、参加希望者に対して移住に関する資料を送付し、情報提供を行った。</p> <p>○ 移住施策の研究</p> <p>移住体験ツアーでアンケート調査を実施し、移住希望者が地方暮らしで魅力を感じることや行政に求める情報や支援策を把握した。</p>		<p>○①移住体験ツアー参加者5組のうち、1組が管内へ移住し、また別の1組が首都圏と管内の二地域居住を開始した。</p> <p>○②移住セミナーの中止で申込者とのつながりが途切れないよう、移住に関するパンフレットを送付するとともに、次回セミナーへの参加を呼び掛けた。</p> <p>○ H30年度参加者アンケートでは「出産や子育て」に高い関心がみられたのに対し、R元年度では「雇用」に高い関心がみられ、移住希望者のニーズを把握できた。</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>	
今後の方向性	事業により一定の移住実績が得られていることから、引き続き取組みを継続するとともに、就職情報など移住者のニーズに的確に対応できるよう、調査研究を行っていく。					